

2006年度事業報告

特定非営利活動法人 大阪府民環境会議

・事業期間

2006年4月1日～2007年3月31日

・事業の成果

2006年度は、大阪府民環境会議において、3年目の年であり、多様な事業の実施も進めていきましたが、役員の改選等、組織としても新しい出発の年であり、多様な新しい取組を実施しました。

まず事業としては、環境省近畿地方環境事務所との協働による近畿環境パートナーシップオフィス(きんき環境館)の運営をはじめ、財団法人大阪府みどり公社(大阪府地球温暖化防止活動推進センター)との協働による「地球温暖化防止! OSAKAアクション2006」を、従来どおり行政などとの協働により実施しました。とくに、きんき環境館の運営については、当会の重点事業として、同館スタッフを中心に、ワーキングチームとの連携により事業運営を進め、同館としてはじめての事業評価を評価委員会から受けました。結果は、概ね良好な成果でしたが、情報の活用などの面で課題もありました。

また2006年度から開始した事業としては、大阪府との協働による「共生の森づくり活動支援」を実施し、ボランティア参加者の増加などの成果がありました。これも、都市再生事業の一つとして大阪府の主要事業であり、今後、当会としての重点事業になるものと予想されます。

その他、大阪府や環境省関係の事業委託も実施しており、今後も適宜対応していきたいと思えます。

次に当会としての新しい取組として最も重要なものは、広報関係のものと会員の相互交流に関するものです。広報については、機関誌の発行が長らくストップしていましたが、2006年度初めに広報委員会を立ち上げ、年度内に2回機関誌を発行しました。またホームページについても、更新できる体制をつくりましたので、できる限り情報提供できるように今後も努力したいと思います。また、会員間の相互交流が不足しているとの声に答えて、会員交流委員会を設置し、会員が相互に理解できるような体制をつくりました。

全体的には、当会のネットワークを活用した事業を中心に進めていき、ある程度の実績があったと思います。一方、組織内部においては、停滞していた活動を、市民フォーラムの開催や機関誌発行・会員交流などを進めることによって相互理解をすすめる、ネットワークとしてのメリットを十分活かせるような体制を早期に確立したいと思います。

・会員の状況

2006年度会員数	正会員(団体)	22
	正会員(個人)	20
	賛助会員(団体)	1
	賛助会員(個人)	8

・事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 地球温暖化防止や地域の環境保全・創造への府民啓発を目的とした教育・広報に関する事業

事業名：アースデイおおさか2006への協力

実施主体は「アースデイおおさか2006実行委員会」

【実施時期】 4月29日 会場：大阪ビジネスパーク(OBP)ツイン21ギャラリー

【事業対象者】一般府民

事業名：市民フォーラム2006「企業社会から地域社会へ～緩急自在、LOHASのすすめ～」
・シンポジウム

【内容】「2007年問題」をテーマに「持続可能な地域づくり」について、企業社会から地域社会へ場を変える人たちに、NPO・市民公益活動への参加の現状と問題点を抽出し、成功する地域デビューのハウツーを討論・情報提供しました。

【実施時期】5月28日（日）会場：大阪産業大学梅田サテライト

【事業対象者】OPEN会員・一般府民、

事業名：大阪府地球温暖化防止活動推進センター委託事業

・タウンミーティング2006「地球温暖化防止とエネルギー削減の地域戦略」

・啓発イベント「地球温暖化防止！OSAKAアクション2006」

【内容】昨年度のタウンミーティングを受け継ぎ、本年度も「地球温暖化防止とエネルギー削減の地域戦略」をテーマに地球温暖化防止にむけた府民への啓発を大阪府内5地域〔摂津市、高槻市、大東市、堺市、八尾市〕のNPOと協働でタウンミーティングの開催と12月地球温暖化防止月間行事「地球温暖化防止！OSAKAアクション 2006」を開催しました。

【実施時期】10月～12月10日

【事業対象者】一般府民、延べ5000名（OSAKAアクションのみ）

事業名：大阪府内活動団体・学校などへの講師派遣（未実施）

事業名：彩都エコエネルギー協議会委託事業「彩都エコエネルギーセミナー」

【内容】「人と自然との共生」をテーマの一つとしてまちづくりを進めている「彩都（国際文化公園都市）において、彩都周辺の地域住民を対象に環境意識の啓発事業を実施し、その企画運営を行いました。

【実施時期】2006年2月から3月（4回開催）

【事業対象者】一般府民

（2）地球温暖化防止や地域の環境保全・創造に向けての情報の収集・発信、調査研究に関する事業

事業名：ニュー・スレタ - 「OPEN」の発行

【内容】地球温暖化防止や大阪府域の環境保全・創造に向けて情報の収集・発信をし、活動の広報や啓発を行いました。

【実施時期】3号11月、4号07年3月

【事業対象者】一般府民

事業名：ホ - ムペ - ジの整備・運用

【内容】地球温暖化防止や大阪府域の環境保全・創造に向けて情報の収集・発信をし、活動の広報や啓発を行いました。また、独自ドメインを取得し掲載内容を更新しました。

【実施時期】1年間

【事業対象者】一般府民

（3）地域に根ざした持続可能な社会・循環型まちづくり及び環境教育のためのネットワークづくり、情報基盤の整備に関する事業

事業名：環境省委託事業

近畿環境パートナーシップオフィス（きんき環境館）の運営管理業務

【内容】環境省との協働による環境保全・環境教育事業を展開し、近畿2府4県で展開している協働事業の情報収集・発信、担い手の育成等の事業。

本事業は、「きんき環境館プロジェクトチーム」で実施しました。

. 事業の実施方針

2006年度は開設時の仕組みを受け継ぎ、2005年度までに整備した基盤を基に、環境パートナーシップ促進の事業を実施しました。

. 主な事業の実施に関する事項

1) 意見交換の場作り事業

○ 地域でのパートナーシップ促進のためのフォーラム等を実施しました。各地域で抱える共通課題をテーマに地域で各主体を交えて意見交換の場を持つことで地域での環境パートナーシップ及び政策形成の促進を目指しました。

大阪府、滋賀県、和歌山県、奈良県、京都府、兵庫県で開催。

○ 環境省の重点施策等に関する意見交換会を実施しました。近畿地方環境事務所を介し環境省本省と調整し次の内容で3回開催しました。

「国連持続可能な開発のための教育の10年」促進事業説明会イン近畿
政策提言に向けたスキルアップセミナー
環境省重点施策ブリーフィング。

2) 環境パートナーシップ担い手充実事業

○ 環境パートナーシップの担い手としての自治体職員を対象とした講座を実施しました。「環境ゼミナール」4回開催のうち2回は自治体（京都府、和歌山県）協力の開催。

3) 環境情報の受発信事業

○ 環境情報の収集、加工では基本情報の目標値をおおむね達成しました。

パートナーシップ事例や環境関連資料の収集、地域環境力データベースについては調査、収集の効率化が課題となりました。

○ 環境情報の発信では、ホームページの更新、メールマガジンの発行、情報誌の発行など環境パートナーシップにかかる環境情報の発信を行いました。

ホームページのアクセス回数 134,904 回

メールマガジンの配信回数 32 回、 情報誌 3 回発行、3,000 部。

4) 協働事業

○ きんき環境館をプラットフォームにしたパートナーシップ登録団体（51団体）との協働事業 20 回、パートナーシップ団体との意見交換会やスペース利用など環境パートナーシップの輪が広がりました。

5) 館内事業

きんき環境館主催行事の開催をはじめ団体、一般来館者へのフリースペースの提供、機器の利用、館内閲覧資料の整備、環境関連パンフレットの配架 などを実施しました。

6) その他事業

- 広報業務として、環境情報発信事業や地域へ行事参加する中で各主体にきんき環境館の紹介や事業案内を行いました。
- 近畿地方環境事務所の行事に 参加協力しました。
- 近畿地域の企業の社会的責任（CSR）に基づく、環境パートナーシップへの活動調査に参画しました。
- 後援名義申請について必要書類受領後、名義使用を許可しました。

7) 運営委員会

- きんき環境館の運営にあたり、基本的な方針ならびに事業報告および事業計画を審議するために設置されています。運営委員 11 名の構成。18 年度は 4 回委員会を開催。

【実施時期】2006年4月1日～2007年3月31日

【事業対象者】近畿圏一般市民・NGO/NPOなど

事業名：大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室委託事業
「共生の森づくり活動支援委託業務」

【内容】大阪湾臨海部の堺第7 - 3区産業廃棄物埋立処分場跡地のフィールドで、市民・NPO・企業・大学・行政が協働しながら約100haの「共生の森」をつくる取り組みが行われています。2007年度は、市民参加の「共生の森づくり」ワークショップ活動が始まって3年度目にあたり、OPENは初めて今回の活動支援業務を受託しました。

1) ワークショップ活動

毎月1回（原則最終日曜日9時半～16時半ごろまで）の計12回、現地などで、植栽イベント、フィールドめぐりイベント、草刈り、鳥類や昆虫の観察調査などを行いました。夏ごろには、過去2年度は行われなかった、**ワークショップメンバー**（64名登録）の自立的組織づくりもリードし、活動班体制が一定程度つくり、自主的な動きが生まれてきました。秋からは**ワークショップメンバー**の希望により森づくり計画づくりを優先し、基本計画案がおおむね完成しています。活動の中心である植栽イベント（2月18日）は総勢400人近い人があつまり、約1300本の植樹を行いました。

2) 活動の事前打合せ

過去2年度は行われなかった活動の事前打合せ会議も毎月1回（原則第2木曜日）行い、**ワークショップメンバー**などとともに活動全般にわたる企画・調整・準備を検討しました。

3) 森づくり平日活動

これまでは毎月1回（原則最終日曜日9時半～16時半ごろまで）のワークショップ活動にほぼ限られていた活動を9月から平日にも行うこととし、毎月1回（原則第2木曜日）の作業を行いました。

4) 自然創生リーダー養成講座

ワークショップメンバーを増やし、森づくり活動を拡充するため、上記の講座を9月から2月にかけて7回開催しました。講生申込みは46名。

5) 広報活動

府民への広報活動については、**ワークショップメンバー**募集・森づくり活動PRのカラーチラシを1万枚、自然創生リーダー養成講座募集チラシ5000枚、植栽イベント案内チラシ1万枚などを印刷配布。また10月からはほぼ毎月、共生の森づくり活動を紹介するメルマガをメンバーが発行してきました。

【実施時期】2006年4月～2007年3月

【事業対象者】市民・NPO・企業・大学

事業名：独立行政法人日本万国博覧会記念機構委託事業
万博公園ボランティア団体養成及び中間支援業務

【内容】万博記念機構のNPO組織等に対する公募業務の効果的な運営のための中間支援業務及び万博公園にて活躍するボランティア団体の養成など、市民参画システムを支援するための業務を行いました

平成17・18年度 総参画者数

項目	平成17年度	平成18年度	小計
市民ボランティア	4,132	6,459	10,591
来園者	1,165	21,882	23,047
職員	1,759	3,067	4,826
講師	不明	221	221
合計	7,056	31,629	38,685

- 1) 各受託団体との調整
- 2) 各種指定研修会の開講 6 回実施
- 3) 安全対策管理、施設等の使用に係る調整(随時)
- 4) 業務入場証、園内車両進入許可証、貸与申請書等の申請受付(年1~2回)
- 5) 公募業務における受託団体特定業務
- 6) ガイドボランティア団体の養成
万博循環型社会推進大学開講 1期生 1年目後期 12日 / 2年目前期 5日
万博循環型社会推進大学開講 2期生 1年目前期 10日 (合計 27日)
- 7) 業務報告会開催 3回
- 8) 万博循環型社会推進大学によるエコツアー実施 3回
エコツアー1回目(機構・受託団体対象) エコツアー2回目(環境フェスティバル21にて)
- 9) 受託団体の協働事業に係る中間支援
 - ・(大阪府都市整備部交通道路室)万博で打水!北摂を冷やすクーリングパークづくりの運営協力
 - ・(大阪大学大学院サステナビリティ連携研究機構)サマーセミナーの運営協力3回
 - ・(府立茨木高校)総合学習支援の運営協力 3回
 - ・(吹田市くるくるプラザ)リユース食器活用の促進啓発イベント 7回
 - ・(吹田市障害者交流センター対象)竹林ガイドと筍間伐体験提供による障害者環境体験支援の運営協力。万博ノーマライゼーション型スポーツ教室運営協力 2回
 - ・大阪大学工学部環境工学基礎演習 20回
 - ・((財)ドナルド・マクドナルドハウス対象) 竹林ガイドと筍間伐体験提供による難病児とその家族等のレスパイトケア支援の運営協力
 - ・就労体験支援 吹田市山田中学校 5回 / A'ワーク創造館 2回 / 大阪府商工労働部 1回

【実施時期】2006年4月1日～2007年3月31日

【事業対象者】一般市民・NPOなど

近畿地域におけるパートナーシップに基づくCSR活動調査

【内容】 近畿地域2府4県・4政令指定都市庁と域内に本社・事業所を有する企業、域内に活動場所を有するNGO/NPOを対象に、環境に関するCSR活動の実態を調査しました。
特に今回は中小企業を重点的に調査しました。

- 1) 調査書送付先は150件、うち現地聞き取り調査は25件。
- 2) 調査書類作成・送付先選定作業・調査書類送付 2006年11月15日～11月25日
- 3) 調査集計 2006年12月5日～2007年2月25日
- 4) 企画委員会の開催 2006年12月5日・2007年2月1日
- 5) CSR活動 地域セミナー2007開催 2007年2月8日(会場：大阪駅前第2ビル大阪生涯学習センター第1研修室)
- 6) CSR活動 環境ステークホルダー・ミーティング開催 2007年3月6日(会場：大阪駅前第3ビル桐杏学院第3会議室)

【実施時期】2006年11月～2007年3月末

【事業対象者】行政・企業・企業従業員・一般府、県民・NGO/NPO

- (4) 目標達成に関連する環境保全活動団体への組織マネジメントや人材育成に関する事業
事業名：OPEN市民セミナー2006(東洋ゴムグループ環境保護基金助成事業)

「はじめてみよう!!市民活動入門講座」

「スキルアップ講座」

【内容】市民活動を広げることを目的に市民活動に関する入門講座と既に活動を行なっている団体およびメンバーの力量アップのための講座

【実施時期】(入門講座)2006年11月4日・11日・18日・25日、12月2日(5日間)

会場：きんき環境館、大阪府環境情報プラザ

(スキルアップ講座)2006年2月10日・17日・24日・3月3日(4日間)

3月3日は「シンポジウム楽楽(らくらく)住めるまちづくり」

会場：きんき環境館・3月3日は大阪市立総合生涯学習センター

【事業対象者】一般市民・NGO/NPO

- (5) 目的達成に関連する行政や企業への政策提言に関する事業
事業名：市民参画・行政の各種委員会等への参画

大阪市：なにわエコ会議に小原純子理事長が副会長として参加

なにわエコ会議委員総会 2006.6.17(原田事務局長が代理出席)

大阪市環境表彰・選考委員として小原純子理事長が審査 2006.12.17

地球温暖化防止パートナーシップフェアに小原純子理事長が参加 2006.12.17

大阪府環境教育等推進委員会(2月19日開催)に原田事務局長が出席。

大阪府省エネ住宅・省エネ家電普及促進協議会に岡靖敏理事が出席 2006.6.5 2007.2.5

(6) ネットワークへの参加

大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」に登録
世話人として、岡靖敏理事が出席
特定非営利活動法人「自然エネルギー市民お会」に会員登録
「なにわエコ会議」に会員登録

・総会の開催状況

第3回総会 開催日 2006年5月28日、会場 大阪産業大学梅田サテライト（大阪駅前第3ビル）
議案 第1号議案 2005年度事業報告承認の件
第2号議案 2004年度収支決算承認の件
第3号議案 2005年度事業計画承認の件
第4号議案 2005年度収支予算承認の件
第5号議案 役員選出の件

・理事会の開催状況

第1回理事会 2006.6.13
第2回理事会 2006.7.18
第3回理事会 2006.8.22
第4回理事会 2006.9.12
第5回理事会 2006.9.13
第6回理事会 2006.11.14
第7回理事会 2006.12.12
第8回理事会 2007.1.26
第9回理事会 2007.2.13
第10回理事会 2007.3.13

・各委員会の開催

【地球温暖化委員会】

昨年に引き続き、地球温暖化防止への取組を大阪府域で広めるため、大阪府地球温暖化防止活動推進センターに企画提案したタウンミーティング2006「地球温暖化防止とエネルギー削減の地域戦略」を大阪府内5市（摂津市、大東市、八尾市、堺市、高槻市）の地元NPO、自治体と協働で開催し、12月地球温暖化防止月間事業として、「私たちに夢ある未来を！～地球温暖化防止！OSAKAアクション2006」（12月10日（日）大阪ビジネスパーク ツイン21アトリウム）の企画運営を行いました。上記事業を進めるため、温暖化委員会および「OSAKAアクション2006」プロジェクトチーム会議を開催しました。

彩都エコエネルギー協議会からの委託事業として、「彩都エコエネルギーセミナー」（2006年2月から3月まで4回開催）の企画運営を行いました。

【自然・里山委員会】

大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室委託事業「共生の森づくり活動支援委託業務」への参画

共生の森づくりの取り組み

堺7-3区産業廃棄物最終処分場が平成16年3月に産廃受け入れを終了したことにともない、この土地をフィールドとして自然の力を活かし、行政、府民、NPO、企業など多様な主体の

協働により、野生生物の生息する森林・草地・湿地などの大規模な生物生息空間を再生する構想です。この構想にもとづき平成16年度からワークショップが開催され、基本計画に沿って具体的な森づくりの取り組みが進められています。

平成18年度は本委員会理事が相当の時間を割いてこの業務に携わりました。＜(2)地球温暖化防止や地域の環境保全・創造に向けての情報の収集・発信、調査研究に関する事業＞参照

共生の森エリアの指標生物の観察指導と野鳥から見た生息域の環境管理についての話題提供も行いました。また、理事が鳥類の生息調査も実施しました。

【環境教育委員会】

環境教育委員会の開催

2回開催(2006年7月、2007年4月)

LINCS(リナックス型環境共育開発プロジェクト)との協働

LINCSで開発したプログラムが「OPEN市民セミナー2006 スキルアップ講座」の一講座として起用されました。

その他

- ・「大阪府環境教育等推進委員会」(2月19日開催)に出席。
- ・原田委員が大阪府民環境会議の立場で「日本環境教育学会運営委員」に就任しました。

【広報委員会】

広報委員会の開催

広報委員会を会員交流委員会と合同で6回開催しました。

7/26(水) 8/25(金) 9/29(金) 10/27(金) 12/15(金) 2/15(木)

他、別途ニュースレター編集会議を4回開催しました。

9/21(木) 12/27(水) 1/29(月) 3/8(木)

ニュースレターの発行

ニュースレターを2回発行しました。

第3号は11月に4ページ建て1000部、第4号は3月に表紙デザインを一新し8ページ建て2000部印刷し、会員及び関係先へ配布しました。

ホームページの更新と独自ドメインの取得

11月にホームページデザインを一新して内容の更新を行ないました。

3月に独自のドメイン名を取得しメールアドレスなど利便性を向上させました。

新ドメイン名：<http://www.npo-open.org/>

【会員交流委員会】

当会の強みは、大阪府下において、自主的に環境問題に取り組み、それぞれのミッションを完遂できるように努力を重ねていることにあります。OPENに集う団体が交流することで、互いの活動を知り、ネットワークの良さを生かすために新たに設置されました。

会員交流委員会の開催。

第1回会員交流会「オープンサントーク」の開催(2007年1月13日)。